

「全国市町村長サミット 2023 in 兵庫」の開催

地域活性化の一層の進展・普及を図ることを目的として、総務省と共催し、全国の市町村長等が一堂に会して議論・交流する「全国市町村長サミット2023 in 兵庫」を本県で初めて姫路市において開催

開催概要

日程 ▶ 令和5年8月28日(月)
29日(火)

参加者 ▶ 500人程度
(全国の市町村長等)
※会場参加またはオンライン参加

実施主体 ▶ (主催) 兵庫県・総務省
(後援) 兵庫県市長会・
兵庫県町村会



会場: アクリエひめじ

【申し込み方法】※詳細は別添チラシ参照

○ 専用サイトより申込:

URL <https://www.hip-ltd.co.jp/summit2023/>

○ 申込締切日: **令和5年7月31日(月)**

【問い合わせ先: 市町振興課企画班(内線2495)】

◆1日目 [8月28日(月)] 13:00~17:20

(17:40~18:50 市町村長交流会)

会場 ▶ アクリエひめじ(姫路市神屋町143-2)

基調講演 ▶ 官民連携による地方創生(仮)

<基調講演者> 中村 智彦
(神戸国際大学経済学部教授)

分科会① ▶ 移住定住

◆養父市長他、全国の3市町村長の事例発表
<コーディネーター> 平井 太郎
(弘前大学大学院地域社会研究科教授)

分科会② ▶ 地域経済の活性化

◆姫路市長他、全国の3市町村長の事例発表
<コーディネーター> 三神 万里子
(ジャーナリスト、元信州大学経営大学院客員教授)

◆2日目 [8月29日(火)] 8:30~

※半日コース、1日コースの2コースを用意

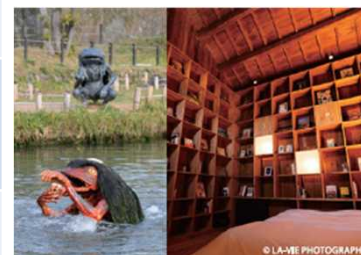
本県が積極的に取り組んでいるフィールドパビリオン等
の活動や、公民連携・移住定住・地域経済によるまちづくり
事例を視察

視察場所 ▶ 中播磨・北播磨地域の6箇所(詳細別紙)

区分	市町	内容
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 半日コース 1日コース	視察先① (公民連携)	姫路市 JR太市駅を核とした4者連携による地域活性化 (説明者:姫路市長 他)
	視察先② (FP・公民連携)	福崎町 辻川山公園の妖怪たち、NIPPONIA播磨福崎蔵書の館(説明者:福崎町長 他)
	視察先③ (地域経済)	市川町 移動式情報発信トラック「愛アン8-10号」 (説明者:市川町長 他)
	昼食④ (FP・地域経済)	多可町 八千代コミュニティプラザ (昼食:マイスター工房八千代『味 天船』) (説明者:多可町長 他)
	視察先⑤ (FP・地域経済)	西脇市 播州織「tamaki niime 村」 (説明者:西脇市長 他)
	視察先⑥ (FP・地域経済)	三木市 山田錦の館 (説明者:三木市長 他)



【JR太市駅】



【辻川山公園・NIPPONIA播磨福崎蔵書の館】



【愛アン8-10号】

※①半日コース、②1日コースの2コースを用意



ひょうごフィールドパビリオン



【山田錦の館】



【tamaki niime 村】



【マイスター工房八千代『味 天船』】

基調講演

官民連携による地方創生（仮）



なかむら ともひこ
中村 智彦

神戸国際大学経済学部教授

1964年東京生まれ。1988年、上智大学文学部卒業。1999年名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了。学術博士号修得。大阪府立産業開発研究所などを経て現職。専門は、中小企業論と地域経済論で、現地での調査・研究を重視し、中小企業間のネットワーク構築や地域経済振興のプロジェクトにも数多く参画する。

現在、ヤフー!ニュースに連載記事を執筆し、テレビ、ラジオなどのコメンテーターも務める。また、総務省地域力創造アドバイザーとして、地方自治体の地域活性化プロジェクトにも参画している。自治大学校や市町村アカデミーなどで、地方自治体職員の研修に当たるほか、愛知県、東京都北区、京都府向日市、山形県川西町など、各地の産業振興関係の委員を務めるなど行政関係の役職も多い。

第一分科会

移住定住



コーディネーター

ひらい たるう
平井 太郎

弘前大学大学院地域社会研究科教授

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。独立行政法人日本学術振興会特別研究員、弘前大学大学院地域社会研究科准教授を経て、2021年から現職。神戸市長田区真野地区の震災復興を現地で学んだことから社会学、特に、地域における合意形成の実践的な研究を志す。

学外においては、地域力創造アドバイザー・地域おこし協力隊アドバイザー（総務省）、新たな農村政策の在り方検討会（農水省）や人・コミュニティ・地域のレジリエンス向上研究会（内閣府）、小さな拠点形成推進に関する検討会（国交省）等委員を歴任。著書に『地域でアクションリサーチ』（農文協）、『新しい地域をつくる』（岩波書店）など。

事例発表者

ひろせ さかえ
広瀬 栄

兵庫県養父市長

せきぐち よしふみ
関口 芳史

新潟県十日町市長

くぼた しょういち
久保田 章市

島根県浜田市長

おおた のぼる
太田 昇

岡山県真庭市長

第二分科会

地域経済の活性化



コーディネーター

みかみ まりこ
三神 万里子

ジャーナリスト・
日本文藝家協会会員 | 日本外国特派員協会会員

慶應義塾大学環境情報学部卒。英ケンブリッジ大学サステナビリティ経営管理専攻修了（CISLエグゼクティブコース）。国立情報学研究所、信州大学経営大学院客員准教授を経て、NHK地域経済番組や国際放送で解説者ほか、地方民放にて地域経済活性化番組設立委員や東日本大震災経済復興番組メインキャスター等歴任。

財界・地銀にて全都道府県及び海外6か国にて講演実績のほか金融・合併人事・高齢化問題に著書があり、トヨタ自動車マネジメント研究会参考図書等。

公職に経済産業省産業構造審議会製造産業分科会や総務省地域循環創造事業交付金審査委員、総務省自治体主導の地域エネルギーシステム整備研究会委員、国土交通省奄美群島振興開発審議会委員などを兼務。地域人材ネットに登録。

事例発表者

きよもと ひでやす
清元 秀泰

兵庫県姫路市長

よした みつる
吉田 満

青森県深浦町長

こいで じょうじ
小出 譲治

千葉県市原市長

しるとりたかし
白鳥 孝

長野県伊那市長

参加市町村長 募集



夙川公園



メリケンパーク



義士行列



姫路城



竹田城跡



おっ玉葱と鳴門海峡大橋

#おっ玉葱



高源寺



宝塚大劇場

地域力の強化に向けた 全国市町村長サミット 2023 in 兵庫

令和5年

8月28日 月

8月29日 火

ハイブリッド開催

会場 **アクリエひめじ**

〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2

アクセス情報 >>



兵庫県マスコットキャラクター
「はばたん」

主催：総務省・兵庫県

【後援】全国市長会・全国町村会・兵庫県市長会・兵庫県町村会

お問い合わせ：総務省 地域振興室 TEL 03-5253-5533

地域力の強化に向けた

全国市町村長サミット 2023 in 兵庫

人口減少社会の到来、地域間格差の拡大、コミュニティの脆弱化など難しい課題に直面している中において、日本経済の再生に向けて、地域の活性化を図っていくことが求められています。このため、全国の市町村長等が一堂に会して議論・交流を行うことを通じて、地域活性化の一層の進展・普及を図ることを目的に、全国市町村長サミット 2023 in 兵庫を開催いたします。開催にあたり、全国の市町村長、自治体職員、団体関係者等の参加者を募集いたします。

8月28日(月) サミット

13:00 ~ 13:20	全体会	総務省挨拶 / 開催地挨拶
13:20 ~ 14:20	基調講演	官民連携による地方創生(仮) なかむら ともひこ 中村 智彦 神戸国際大学経済学部教授
14:40 ~ 17:20	分科会	2つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと発表される市町村長の方々に、取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。
	第一分科会	移住定住 コーディネーター ひらい たるう 平井 太郎 弘前大学大学院地域社会研究科教授 事例発表者 ひるせ さかえ 広瀬 栄 兵庫県養父市長 せぎぐち よしふみ 関口 芳史 新潟県十日町市長 くぼた しょういち 久保田 章市 鳥根県浜田市長 おおた のぼる 太田 昇 岡山県真庭市長
	第二分科会	地域経済の活性化 コーディネーター みかみ まりこ 三神 万里子 ジャーナリスト・日本文藝家協会会員 日本外国特派員協会会員 事例発表者 きよもと ひでやす 清元 秀泰 兵庫県姫路市長 よした みつる 吉田 満 青森県深浦町長 こいで じょうじ 小出 譲治 千葉県市原市長 しろとり たかし 白鳥 孝 長野県伊那市長
17:40 ~ 18:50	市町村長交流会	市町村長等による意見交換、情報交換の場として交流会を実施します。(参加費4,000円) ※ 変更、中止となる場合があります。

8月29日(火) 現地視察

※ B1日コースは、昼食代として当日1,500円をいただきます。

視察の流れ	8:30	姫路駅前 集合・出発
	9:05 ~ 9:35	① JR太市駅 <small>(概要説明、現地視察)</small>
	10:15 ~ 11:00	② 辻川山公園・NIPPONIA 播磨福崎 蔵書の館 <small>(概要説明、現地視察)</small>
	11:25 ~ 12:05	③ リフレッシュパーク市川 <small>(概要説明、質疑応答、ゴルフ試打)</small>
	※ A半日コース 終了(姫路駅(13:00))	
	※ B1日コース : 午前は半日コースと同じ → 八千代コミュニティプラザで昼食	
	12:30 ~ 13:30	④ 八千代コミュニティプラザ <small>(概要説明、昼食)</small>
	14:00 ~ 14:40	⑤ 播州織「tamaki niime村」 <small>(概要説明、工房見学)</small>
	15:20 ~ 16:00	⑥ 山田錦の館 <small>(施設説明、施設見学、試飲・実演・体験等)</small>
	※ B1日コース 終了(神戸駅(16:50)→三宮駅(17:05))	



① JR太市駅を核とした4者連携による地域活性化

少子高齢化、人口減少により地域活力が低下していた太市地区の活性化に向けて、地元、民間事業者、JR西日本、姫路市の4者が連携して、民間企業の社屋と一体となった駅舎の建設や駅前広場等の整備を行いました。新たに生まれた地域の核を中心に、特産のタンコを活用したイベント開催など地域の活性化、にぎわいの創出を図っています。



④ 八千代コミュニティプラザ マイスター工房八千代 『味 天船(あまふね)』

昼食は、名物の「天船巻きずし」で知られるマイスター工房八千代の特製手作り弁当。今年1月東京銀座に「マイスター工房八千代銀座店」をオープンし、兵庫県・公民連携型アンテナショップに認証されました。ここでは味わえない田舎のおふくろの味をご堪能ください。



②-1. 辻川山公園の妖怪たち ②-2. NIPPONIA 播磨福崎 蔵書の館

②-1. 生野街道と北条街道が交わり、往時は大いに栄えたという辻川界隈。大庄屋三木家住宅や旧辻川郵便局から日本民俗学の創始者・柳田國男の生家へと誘う辻川山公園は、國男の著書『妖怪談義』に因んで誕生した「池から飛び出す河童のガジロウ」で一躍脚光を浴びました。その後、不気味な小屋から出てくる機械仕掛けの「逆さ天狗」が登場。妖怪造形コンテストの最優秀作品である「山の神」「鶴(ぬえ)」などをモニュメント化して設置された妖怪造形たちも、訪れる人たちを出迎えてくれます。②-2. 柳田國男が幼少の頃に一年間預けられ、その蔵書を読み耽ったという県指定重要文化財・三木家住宅の一部は、「保存から活用へ」と転換した文化財保護法の改正を機に、一般社団法人ノオトと神戸新聞社とで設立した株式会社PAGE(ページ)が指定管理者となって調達した資金により、宿泊施設「NIPPONIA(ニッポニア) 播磨福崎 蔵書の館」として活用されています。昔ながらの雰囲気味わいながら非日常のひとときを過ごせる空間となり、主屋を活用した結婚式や地産地消をコンセプトにしたレストランも人気となっています。



③ 市川町移動式情報発信トラック「愛アン8-10号」

「国産軟鉄鍛造アイアンヘッド日本発祥の地」である市川町は、世界のゴルフトッププレーヤーが使用するゴルフアイアンヘッドの生産が地場産業です。町内は、大型集客施設が少なく、催しが開きづらいため発想を転換し、町外に出向いて町を売り込むことにしました。令和5年3月に完成した情報発信トラックは、4トンワジロングの特殊車両で、荷台部分はステージ仕様にする、長さ7m、幅約3m〜3.5mのスペースと上部には電光掲示板が現れます。アイアンと町のキャッチコピー「愛からはじまるハートのまち」にちなみ、「愛アン8-10(アイアンハート)号」と名付けました。ステージや電光掲示板を使ったゴルフクラブをはじめとする町の魅力発信のほか、災害時には町内外への物資搬送や、トラックに搭載した太陽光パネルと蓄電池を活用して電源を供給でき、災害時の拠点となることも想定しています。



⑤ 播州織「tamaki niime村」

西脇市に移り住み、230年の歴史を持つ播州織に新しい息吹をもたらしたデザイナー玉木新雄氏の創作工房。廃業した染色工場を活用し、2018年秋にオープン。先に糸を染めて織りあげること、自然な風合いと豊かな色彩の生地に仕上がる播州織の特徴を生かし、ショールやウェアなど多様な作品たちを産地から世界へ向けて発信しています。播州織の生産工程が見学できるほか、生地の原料となる綿花の栽培や収穫体験を通じて、ものづくりの原点だけでなく、背景も知ってもらえる活動も展開しており、大阪・関西万博に向けて兵庫県が取り組む、体験を通じて地域から活動現場の魅力を発信する「フィールドパビリオン」のプレミアムプログラムにも選定されています。



⑥ 山田錦の館

三木市の特産品購入や日本酒づくりについて学べる複合施設「山田錦の館」。山田錦ミュージアムでは、酒米「山田錦」に関する情報を展示。山田錦の栽培や日本酒に関する情報のほか、産地である三木市の歴史や風土を学ぶことで、日本酒をより深く知ることができます。見学後は、日本酒の有料試飲ができる「おためし処 蔵」へ、三木市をはじめ、さまざまな地域の日本酒を試飲することができます。店頭販売もあるので、気に入ったものがあればぜひ購入してください。また、三木市内で収穫された野菜の直売所や、同館の敷地内にある加工室で作られた山田錦みそ、山田錦米麹が持つ甘味が特徴のパンや山田錦の米粉や酒粕を食べて育ったうなぎなど、地元の食材を使った商品が購入できるのも魅力です。山田錦を使った日本酒のルーツや三木市の食材を堪能してください。

「ひょうごフィールドパビリオン」は、2025年大阪・関西万博を機に、県全体を展示館(パビリオン)に見立て、地域のSDGsを体現する活動の現場(フィールド)を地域の人が主体となって発信し、多くの人に見て、学んで、体験していただくプログラムです。


参加ご希望の方は、下記 URL よりお申込みをお願いいたします。

- 参加対象者 市町村長、自治体職員、地域づくり団体関係者等の参加者を募集いたします。
- 参加形態 **会場参加** または **オンライン参加**
- 参加費 **会場参加** サミット：無料 / 市町村長交流会：4,000円(当日現金) **オンライン参加** 無料 ※手話通訳・要約筆記あり

申込等の個人情報については、本サミットに係る目的以外での利用はいたしません。

申込窓口 株式会社ヒップ【担当：劔(つるぎ)・渡邊・新田】
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5-608
TEL 03-3370-2411 E-mail summit2023@hip-ltd.co.jp

お申込みの流れ

- 1 専用サイトよりお申込み** URL <https://www.hip-ltd.co.jp/summit2023/> 
申込締切日：令和5年7月31日(月) 専用サイトはこちらから >>
- 2 参加証等の送付** **会場参加** ご登録のアドレス宛に参加証等をお送りします。
オンライン参加 ご登録のアドレスに当日のURLをお送りします。
- 3 当日来場受付** **会場参加** 参加証をお持ちください。